

神奈川近代文学館年表

1979～2013

財団法人神奈川文学振興会
1982～2011

公益財団法人神奈川文学振興会
2011～2013

年表に関する注記

この年表は、県立神奈川近代文学館及び財団法人（現・公益財団法人）神奈川文学振興会の発足から開館 30 年に至るまでの双方の歩みを一つに纏めたものである。その製作にあたっては、館や財団の成立過程を明らかにし、将来へ正しく伝えるため、以下の資料につき事実関係を検証した上で加筆訂正を行い、ほぼ全文を採用した。

1. 『神奈川近代文学館 10 年史』（1994 年 10 月刊）に掲載の「神奈川近代文学館略年表」
2. 「神奈川近代文学館年報」1994 年度～2013 年度に掲載の「年度記事」
3. 機関紙「神奈川近代文学館」の一部記事

凡 例

1. 年表内の敬称については、その時点での役員等任期に合わせ、概ね役職名を補った。
2. 年表内で特に開催場所の注記がない場合、展覧会は全て文学館展示室での開催。講演会等の催事に関しては展示館 2 階ホールで実施されたものである。
3. 資料の一括受贈等については、〈山括弧〉で囲み、○資料、○文庫と記した。受贈時の規模、状況により○資料としたものが、のち文庫となった場合はその旨を補った。

4/30 横浜市の異動に伴い、大澤正之氏が評議員を退任、佐藤雅亮氏が評議員に就任（5/1）。

5/9 広津展記念朗読会（朗読・寺田農氏）。

5/16 第33回評議員会（出席23名）。第41回理事会（出席13名）。

5/22 仙台文学館・東海林恒英理事長、境洋文副館長ら視察に来館。

6/1 横浜市の異動に伴い、齋藤龍氏が理事を退任、岡本坦氏が理事に就任。

6/11 太田元吉氏から〈木下杢太郎文庫〉追加受贈。

6/18 全国文学館協議会幹事会・総会（於・日本近代文学館）に事務局長、総務課長出席。

6/24 吉田次郎氏が評議員を辞任、石井明氏が評議員就任（6/25）。

6/26 「開高健展」編集委員会（出席・加賀乙彦氏、黒井千次理事、高橋英夫氏 欠席・辻邦生氏）。

7/28 博物館実習（～8/2）。

7/29 第2回「谷崎潤一郎展」編集委員会（出席・編集委員・河野多恵子氏、編集協力・千葉俊二氏）。

8/26 田村隆一評議員死去。

8/30 台湾国立文化資産保存研究中心籌備處・林金梅主任が調査に来館。

9/5 堀田善衛評議員死去。

9/15 『県立神奈川近代文学館収蔵特別資料リスト 1994・1997 年度受入』刊行。

9/29 かごしま近代文学館から展示実習職員受入（～10/1）。

10/3 「谷崎潤一郎展」開催（～11/8）。同日にレセプション（挨拶・中野理事長、編集委員の河野多恵子氏、遺族代表の観世恵美子氏、嶋中雅子中央公論社会長）。山田今次評議員死去。

10/10 谷崎潤一郎展映画会（「細雪」、10/25「春琴物語」）。

10/16 鹿児島市教育施設管理公社・浜理忠宜理事らが視察。

10/17 講座「谷崎潤一郎」（講師・佐伯彰一氏、種村季弘氏、10/24 島田雅彦評議員、川本三郎氏、10/31 三浦雅士氏、河野多恵子氏）。

10/22 国際子ども図書館・児童書専門類縁機関による協力者会議（平成10年度第1回）に職員出席（3/9も）。

10/25 日中文化交流協会を通じて中国人民対外友好協会代表団の作家・舒乙団長、李鉄民、傅家宝、馬俊軍、劉子敬、董振華氏の各氏が来館。

11/5 吉野美耶子氏から〈吉野秀雄資料（のちに文庫）〉受贈。以後継続して受贈。

11/14 収蔵コレクション展2「近藤東文庫」開催（～1999/1/10）。

11/20 全国文学館協議会総務情報部会（於・大原高枝文学館）に総務課長ら出席。

12/13 「永井荷風展」編集委員会（出席・安岡章太郎、竹盛天雄、近藤信行の両氏）。

12/15 第1回司馬遼太郎展企画委員会に展示課長ら出席（2/1、3/25も）。

12/22 第34回評議員会（出席26名）。第42回理事会（出席15名）。資料委員会も開催。広津和郎、桃子著作権の収入を原資に広津基金預金を創設。

1999年（平成11）

1/31 森本敏男氏が評議員を辞任。水木初彦氏が評議員就任（2/1）。

2/6 文芸朗読会（「太宗治を読む」朗読・山本學氏）。

3/4 松本清張記念館・藤井康榮館長ら視察に来館。

3/5 井上ふみ夫人から〈井上靖資料（のちに文庫）〉追加受贈。中山晋平記念館・小林盛康館長ら視察に来館。

3/31 倉和男（振興会）事務局長が退職。4/1以降常勤理事。

4/1 流石征治県立図書館長が評議員に就任。斉藤充次長、事務局長に就任。

4/3 菊村到評議員死去。

4/5 収蔵文庫目録10『中里恒子文庫目録』刊行。

98 文学館年表

4/10 「開高健展」開催（～5/16）。同日にレセプション（挨拶・中野理事長、編集委員の黒井千次理事・高橋英夫氏、開高夫人・牧羊子氏）。

4/17 講座「開高健の世界」（講師・高樹のぶ子氏、大岡玲氏、4/24 黒井千次理事、増田みず子氏、5/1 加賀乙彦氏、川村湊氏）。

4/24 講座講師で来館の黒井千次理事を訪ねて伊藤信吉理事来館。

5/4 名誉顧問・長洲一二前県知事死去。

5/15 第35回評議員会（出席24名）。第43回理事会（出席8名）。

5/24 青景孝子、はかりや珠江の両氏が評議員を退任、小川久仁子、吉田大成の両氏が評議員に就任（5/25）。伊藤仁出納長が監事に、赤羽根日出夫図書館長が評議員に就任。松本県民部次長、黒川文化課長着任の挨拶に来館。

6/17 全国文学館協議会総会、展示情報部会世話会に事務局長ら出席。

6/19 夏目嘉米子氏から〈夏目漱石資料〉受贈。以後継続して受贈。

7/8 「司馬遼太郎が愛した世界展」全体会議に参事ら出席。

7/9 漱石資料受贈記者発表（出席・保昌正夫常務理事、倉和男理事、清水節男評議員）。

7/15 『県立神奈川近代文学館収蔵特別資料リスト 1993・1998 年度受入』刊行。

7/20 鈴木三重吉長男の鈴木珊吉氏から〈鈴木三重吉・赤い鳥文庫〉を追加受贈。

7/21 江藤淳理事死去。

7/27 博物館実習（～8/1）。

8/12 〈藤田圭雄文庫〉の追加寄贈で、藤田圭雄理事、長男滋氏を伴って来館。

8/27 高井有一氏、秋田県角館町の職員を伴い文学館建設の相談に来館。

9/11 「川端康成生誕100年記念講演会」（講師・竹西寛子氏）。

9/21 尾崎秀樹理事死去。

10/2 「永井荷風展」開催（～11/7）。同日にレセプション（挨拶・中野理事長、編集委員の安岡章太郎氏・竹盛天雄氏）刊行。

10/11 「原爆文学展」編集委員会開催（出席・編集委員・中野理事長、編集協力・黒古一夫氏）。永井荷風展講演会（講師・永井路子氏）。

10/16 永井荷風展朗読会（朗読・大和田伸也氏）。

10/21 〈正岡容資料〉を長女の正岡淳子氏から受贈。

10/26 さいたま文学館職員、研修で来館。

10/27 石井光太郎評議員死去。

10/29 全国文学館協議会展示情報部会（於・北海道文学館）に参事ら出席。

10/30 当館後援の平塚市神田公民館講演会（講師・早乙女貢理事）。

11/7 藤田圭雄理事死去。

11/19 県監査委員による財団定期監査。

11/27 「尾崎一雄生誕百年の会」（於・下曾我）に理事ら出席。

12/21 第36回評議員会（出席26名）。第44回理事会（出席11名）。資料委員会も開催。

2000年（平成12）

1/28 〈山田今次資料〉の第2次分受贈。

2/1 神奈川近代文学館周辺美化環境整備事業始まる。

2/10 改正寄付行為が県の認可を得る。紀田順一郎、三木卓の両理事が常務理事に就任。

2/19 収蔵コレクション展3「尾崎一雄文庫」開催（～4/16）。

2/26 尾崎一雄生誕100年記念講演会（講師・中野理事長）。

3/2 古沢太穂評議員死去。

3/8 岡松和夫常務理事から著作原稿〈岡松和夫資料〉受贈。

3/11 尾崎一雄生誕100年記念朗読会（朗読・米倉齊加年

氏）。

3/15 吉田嘉子夫人から〈吉田満資料〉を受贈。

3/18 第37回評議員会（出席20名）。第45回理事会（出席9名）。任期満了に伴う役員、評議員の改選が行われる。

3/23 山室静評議員死去。

3/24 広島県福山市議会議員視察に来館。

4/1 小泉浩一郎、篠崎孝子、水木初彦、山田太一の各氏が理事に、寛楨二、川本三郎、志村有弘、南原幹雄、日高昭二、富士川義之、山崎洋子の各氏が評議員に就任。所蔵資料検索のインターネット公開開始。

4/9 「子どもの本の世界展」第1回編集委員会（出席・編集委員・上笙一郎理事、司修氏、三木卓常務理事、編集協力・佐藤宗子氏）。

4/22 「司馬遼太郎が愛した世界展」開催（共催・NHK、朝日新聞社 ～5/28）。同日にレセプション（挨拶・中野理事長、清原康正評議員ほか）。

4/29 映画会開催（「尻啖え孫一」）。

5/13 第46回理事会（出席17名）。第38回評議員会（出席21名）開催。中野理事長と6名の常務理事が再任、阿川弘之氏を顧問に、川口繁男、富田日出男の両氏を理事に、馬場昭男氏を評議員に選任。「神奈川近代文学館を支援（サポート）する経営者の会」第1回総会も開催。会長に篠崎孝子氏、幹事に板倉敬子、岩宮陽子、近澤弘明、鈴木智恵子、林兼正、田沼智明の各氏を選出。同日、吉田薫生評議員死去。

5/14 文学講座「司馬遼太郎」（講師・小山内美江子氏、鶴見俊輔氏、5/21 出久根達郎氏、半藤一利氏）。

5/17 「友の会」文学散歩（講師・藤谷宏樹氏。横須賀方面、24日も）。

6/4 図書館資料サービス研究会（都内12施設から15名）が施設見学。

6/15 全国文学館協議会総会、資料情報部会世話会に倉理事ら出席。

6/18 〈藤田圭雄文庫〉追加寄贈の件で、長男滋氏を事務局長、資料課長らが訪ね、挨拶と資料搬出の打ち合わせ。7/1から収書始まる。

7/10 『県立神奈川近代文学館収蔵特別資料リスト 1992・1999 年度受入』刊行。

7/12 収蔵文庫目録11『中村光夫文庫目録』刊行。

7/25 博物館実習（～30）。

8/23 古河文学館職員、展示研修で来館。

9/15 木村剛太郎夫妻、福島県小高町教育長ら〈埴谷雄高資料〉の件で倉理事、事務局長と面談（11/11に下見）。

9/20 〈花田清輝資料〉受贈。以後継続して受贈。

10/7 「原爆文学展」開催（～11/12）。同日にレセプション（挨拶・中野理事長（編集委員）、林京子理事、編集協力の黒古一夫氏）。

10/8 原爆文学展朗読会（朗読・加賀美幸子氏）。

10/13 〈平塚武二資料〉受贈。以後継続して受贈。

10/15 映画会（「八月の狂詩曲」、11/3「黒い雨」）。

10/19 〈中尾進資料〉受贈。以後継続して受贈。

10/27 全国文学館協議会資料情報部会（於・姫路文学館）に資料課長ら出席。

10/29 原爆文学展講演会「被爆とわたくし」（講師・林京子理事）。

11/8 吉野美耶子氏から〈吉野秀雄文庫〉追加受贈。粕山佐保子・三輪子氏から〈粕山粹月資料〉受贈。以後継続して受贈。

11/18 収蔵コレクション展4「木下杢太郎文庫」開催（～2001/1/14）。遺族の太田昭子・寧子氏ほか来館。

11/29 「野間宏展」編集委員会（出席・編集委員・黒井千次理事、編集協力・紅野謙介氏）。同日、故吉田薫生評議員の旧蔵書が夫人の倫子氏から寄贈。また山本れい子氏（七平夫人）資料寄贈の件で来館（12/7に下見）。

12/12 藤木宏幸理事、病のため辞任。

12/22 資料委員会開催。収蔵庫を視察。今後の収集等について審議。

12/24 「元台南州庁修復再利用企画検討会」（於・台南市）に事務局長出席（2001/3/3も）。

2001年（平成13）

1/13 本多秋五評議員死去。

1/14 本館南側法面改修工事始まる。

1/15 川合澄男評議員死去。

1/22 「芸亭の桜」の支柱敷設工事。

1/24 〈中園英助資料（のちに文庫）〉受贈。以後継続して受贈。

1/26 鎌倉市芸術文化振興財団職員、研修で来館（～27）。

2/3 〈尾崎秀樹資料〉（旧蔵書）下見で清原康正評議員、事務局長ら尾崎家に挨拶。

2/12 熊澤正一評議員死去。

2/24 文芸朗読会（朗読・津嘉山正種氏）。

3/9 全国文学館協議会資料情報部会共同討議に資料課長ら出席。

3/22 東屋跡記念碑除幕式に佐江衆一理事、小山文雄評議員ら出席。同日、県公益法人等連絡協議会共同事業部会幹事会に総務課長補佐出席。

3/24 第47回理事会（出席13名）。第39回評議員会（出席26名）開催。飯塚谷、太田治子、荻野アンナ、杉山信雄、林淑美の各氏を評議員に選任。

4/7 「子どもの本の世界展」開催（～5/13）。同日にレセプション（挨拶・中野理事長、編集委員の三木卓常務理事・上笙一郎理事）。

4/15 「子どもの本の世界展」人形劇（4/30も）。

4/19 斉藤充事務局長死去。

4/22 「子どもの本の世界展」文学講座「子どもと文学の現在・未来」（講師・舟崎克彦氏、落合恵子氏、5/5 対談・谷川俊太郎氏、工藤直子氏）。

5/13 「夏目漱石展」編集委員会（出席・岡松和夫常務理事、石崎等氏）。

5/26 第48回理事会（出席11名）。第40回評議員会（出席21名）。橋本正俊氏が監事に、畠山康、赤間二郎の両氏が評議員に就任。「神奈川近代文学館を支援する経営者の会」第2回総会も開催。

5/27 文芸朗読会（朗読・藤村志保氏）。

6/1 国正道夫資料課長が事務局長に就任。

6/14 全国文学館協議会（於・日本近代文学館）。

6/20 「有鄰」の座談会「神奈川近代文学館コレクションの粋を語る」当館で開催。（中野孝次理事長、安西篤子、三木卓両常務理事、有隣協会会長篠崎孝子理事、倉理事）。

7/10 『県立神奈川近代文学館収蔵特別資料リスト 1991・2000 年度受入』刊行。

7/11 県監査委員による財団定期監査。

7/20 〈埴谷雄高資料（のちに文庫）〉受贈。以後継続して受贈。

7/28 「子どもの本の世界展」（共催・会場・古河文学館）開催（～9/2）。当館巡回展「20世紀の子どもの本とうた展」（会場・小田原文学館）開催（～9/2）。博物館実習（～8/5）。

9/4 〈井上靖資料〉下見で事務局長、資料課長が井上ふみ夫人、長女の浦城幾世氏に挨拶。

9/8 山本れい子夫人から〈山本七平資料〉受贈。以後継続して受贈。

10/6 「野間宏と戦後派の作家たち展」開催（～11/11）。同日にレセプション（挨拶・中野理事長、編集委員の黒井千次理事、野間光子夫人、岡松和夫常務理事）。

10/24 〈井上靖資料〉追加受贈。33番目の文庫「井上靖文庫」として新たに設置された井上靖記念室で保存。先に受贈の〈埴谷雄高資料〉を34番目の文庫とした。

11/1 「友の会」文学散歩（講師・武田弘之氏。真鶴・湯河原方面、9日も）。

文学館年表 99

2014年(平成26)

- 2/1 収蔵コレクション展13「生誕90年 黒岩重吾展」開催(～3/30)。
2/7 「須賀敦子展」編集委員会(出席・湯川豊氏)。
2/22 黒岩展記念講演会(講師・伊集院静氏)、3/9 講座(講師・清原康正専務理事)。
3/19 第7回通常理事会(出席5名)。2014年度事業計画及び予算案、2013年度補正予算案が承認。
3/25 収蔵文庫目録19『立原正秋文庫目録』刊行。
3/26 第5回〈文学館活用研修会〉を開催(出席16人)。